

報道関係各位

慶應義塾大学 SFC 研究所

第17回 データビジネス創造コンテスト本選発表会（9/30）を開催 —Digital Innovators Grand Prix 17 (DIG17)— 滋賀大学大学院「Mother Lake」が最優秀賞を受賞

慶應義塾大学 SFC 研究所データビジネス創造・ラボ（代表：村井 純）は、株式会社カカコム（代表取締役社長：畑 彰之介）のサポートのもと、「第17回 データビジネス創造コンテスト — Digital Innovators Grand Prix 17 (略称：DIG 17) —」を実施し、その本選発表会・審査会・表彰式を9月30日（土）に慶應義塾大学 三田キャンパスにてハイブリッド方式で開催いたしました。

1. 趣旨

本コンテストでは、「生活家電から考えるエシカルな生活」をテーマに、様々な生活家電のアクセスデータやクチコミデータを分析することで、未来のエシカル（ethical 倫理的）な生活につながるアイデアや施策を募集しました。

データ活用がもたらすビジネス機会がますます増える中、テクノロジーやデータを活用できる人材が不足しているために、解決されていない課題がたくさんあります。本コンテストでは、幅広い年代の学生たちに、データ分析を通じて社会課題への理解を深め、解決策を提案する機会を提供し、その結果として、データを活用できる人材の育成を目指します。

2. 実施概要

■テーマ（目的）

「生活家電から考えるエシカルな生活」

■本選発表会・審査会・表彰式

日時：2023年9月30日（土）13:30～18:35（開場 13:00）

場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール（オンラインとのハイブリッド方式）

■応募資格

日本の高等学校、高等専門学校、大学、大学院の正規課程に所属する生徒・学生

■本選審査基準

予選結果に加え、「データ活用性」、「提案施策の有用性」、「プレゼンテーション」の3つの基準をもとに審査を行いました。

■審査員長

村井 純 慶應義塾大学教授

■主催

慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボ

■ビジネスパートナー

株式会社カカコム

3. 審査結果

今回は、57 チームから参加の申し込みがあり、そのうち 49 チームが予選にエントリーしました。予選審査を通過した 11 チームが本選発表会で最終プレゼンテーションを行いました。

■最優秀賞（賞金 20 万円）

チーム名：Mother Lake（滋賀大学大学院）

テーマ：「Ecbo の笑顔と共に築くエシカルな未来

- Ecbo の微笑みがエシカルを育む -」



■優秀賞（賞金 10 万円）

チーム名：3 軒目のタランチュラ（慶應義塾大学大学院）

テーマ：「ETHI-CAMP 親子で楽しく『エシカル』について学べる
2泊3日のキャンプ」



■カカコム賞（賞金 5 万円）

チーム名：海老アヒージョ（専修大学）

テーマ：「社会全体で家電の底上げを目指しエシカルな生活へ
1UP！」



■未来創造賞（賞金 5 万円）

チーム名：KIM（神戸電子専門学校）

テーマ：「-エシカルな選択を価格から- 未来コスト」



■審査員特別賞（賞金 5 万円）

チーム名：三匹の子豚（専修大学）

テーマ：「家電のアイデアを募るプラットフォーム KISO-TENGAI ～
価格.comのエシカルな社会貢献～」



■高校生部門賞（賞金 5 万円）

チーム名：Dreamer（慶應義塾湘南藤沢高等部）

テーマ：「HAREC 節電を毎日の習慣に」



■入賞チーム（ファイナリスト） ※発表順

Apollo（東京理科大学・東京理科大学大学院）

Sim.（創価大学）

海老アヒージョ（専修大学）

Dreamer（慶應義塾湘南藤沢高等部）

KIM（神戸電子専門学校）

park rose（慶應義塾大学・慶應義塾大学大学院）

3軒目のタランチュラ（慶應義塾大学大学院）

Mother Lake（滋賀大学大学院）

さんどいっち（専修大学）

lemonade（専修大学）

三匹の子豚（専修大学）



詳細は、公式サイトをご覧ください。

第17回データビジネス創造コンテスト公式サイト <https://dmc-lab.sfc.keio.ac.jp/dig17/>

【本コンテストに関する問合せ】

慶應義塾大学 SFC 研究所 データビジネス創造・ラボ事務局 E-mail：dig-info@sfc.keio.ac.jp

【配信元】

慶應義塾大学 湘南藤沢事務室 学術研究支援担当

E-mail：kri-pr@sfc.keio.ac.jp